

# 令和元年度第1回番組審議会議事録

宇和島ケーブルテレビ株式会社

日時：令和元年6月15日（土） 10：00～11：30

場所：本社2階会議室（宇和島市丸之内5丁目4番7号）

審議員：審議委員総数 7名

出席委員 6名

・出席者

委員	本田	耕一	会長
	山内	幸子	副会長
	渡邊	浩三	委員
	大久保	幸裕	委員
	石崎	美和	委員
	宮本	美樹	委員
UCAT	新津	昌雄	代表取締役社長
	伊藤	克将	取締役編成制作部長
	山田	龍治	鬼北局担当部長
	田中	多紀	編成制作部制作課長
	和田	直久	編成制作部制作課ラジオチーフ
	光岡	良樹	番組審議会事務局

1. 開会
2. あいさつ 宇和島ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長 新津 昌雄
3. 自己紹介
4. 審議会規定の説明・確認
5. 会長・副会長選出
6. 宇和島ケーブルテレビ事業内容紹介
7. 宇和島ケーブルテレビの災害対策について
8. 平成30年7月豪雨の対応について
9. 意見交換
10. 閉会

## 質問（ご意見）・回答

### ■宇和島ケーブルテレビ事業内容紹介

○ラジオパーソナリティの選出方法はどのようにしているのか？（山内）

・応募があれば面接をしている。（和田）

○ラジオパーソナリティの応募数が多かったらどのように決めるのか？（渡邊）

・今まで放送枠を超えたことはないが、面接や内容で検討し進める。（和田）

### ■宇和島ケーブルテレビの災害対策について

○災害対策としてライフライン等の情報の共有が大事だと感じた。（本田）

・市（町）、UCAT、南海放送で協定を結び、情報連携を行っている。（伊藤）

○実際に豪雨災害で被災し、復旧作業を行う中で、ケーブルテレビでの災害関連情報が役に立ち助かった。（大久保）

○市が防災ラジオを配布したが、高齢者宅では全く使っていなかったり、箱から出してない人もいたのでその対応について。（山内）

市と連携し、防災ラジオの使い方などを広く周知するよう努める。（伊藤）

○豪雨災害にておよそ100件の解約・休止があるが、その後の再契約はどのくらいか？

（宮本）

・再開のペースは遅い。現在でも被災家屋の解体を待っている人もいる状態で時間がかかっている。高齢者は家族の家や施設へ移りそのまま解約が多い。（伊藤）

○防災ラジオはすべての避難所に設置してあるのか？（渡邊）

・市の担当者へ確認（伊藤）

○現在SNSが普及し様々な情報を見ることができる。SNSでの情報収集の活用について。

（石崎）

・SNSの情報は真偽が不明なものが多いため、登録をして利用するなどの仕組みを作る必要がある。（伊藤）

### ■その他

○運動会等の学校行事の撮影は助かっている。他に地区活動やイベント等、情報を提供して取材をしてもらえるかどうかの線引きはあるのか？（大久保）

・学校行事などについてはなるべく行きたいと考えている。情報提供は広く求めているが、単に広告になるような取材はお断りすることがある。地元のためになるかどうかで判断する。（伊藤・田中）

○取材、放送について、鬼北チャンネルの正月の文化祭の放送などすごく地域貢献していると感じる。（宮本）

○ラジオでの市からの緊急放送は、もう少し明瞭な口調でお願いしたい。（本田）

・割込放送については、市担当職員との連携を再確認する。（伊藤）

以上